

平成 26 年度 第 3 回 理事会議事録

日時：平成 26 年 6 月 24 日（火）18：30～20：30

場 所：県士会事務所

出席：(理事) 小林伸、磯野、有泉、藤田、青柳、北山、
古屋、笠井、井村

(部長) 鈴木、大内、菅谷、加納

(委員長) 小林(司)、小林(幸)

欠席：(理事) 高村

書記：伊東・木村

会員管理情報（6 月 15 日現在）

慶事 2 件 弔事 1 件 施設数 1112 会員数 750 休会 36 名

I. 審議事項（全 3 題）

1. 緊急連絡網の運用について

(鈴木総務部長)

承認 電話による緊急連絡網を個人情報掲載に関して同意していただける施設代表者で作成する。理事への連絡は当該運営局長から会長、会長から副会長・事務局長、副会長から担当局長へとする。案を基本に作成していく。

2. 備品管理規定の改正について

(鈴木総務部長)

承認 廃棄の取り扱いの項目を追加。備品として購入したものは全て廃棄の届出をする。減価償却の目安となる耐用年数に関しては購入したときに決めておく。起案書に記載する欄を追加する。

3. 物品購入起案書(ビブス)について

(鈴木総務部長)

承認 ビブスを 2 種類のデザインでそれぞれ 10 着ずつ作成する。2 社から見積もりをとり安価な方に決定し依頼した。6 月 27 日に届く予定。

II. 報告事項（全 8 題）

1. インターハイサポート委員会 経過報告

(小林幸委員長)

ウエイトリフティング、自転車、卓球の競技へ活動を行っている。PR 活動については甲府市、笛吹市、山梨市の各実行委員へ理学療法の案内文を掲載依頼。卓球に関しては HP に掲載したいとのことで文章を作成している。各競技の担当医師、看護師は 7 月に決まる予定。物品、消耗品の多くは実行委員で準備する。委員会サポートメンバーについては 24 施設 65 名（スポーツ PT 部員 25 名、ボランティア登録者 40 名）を予定しており、委員として承認していただきたい。選出は委員長、事務局で委嘱状を作成、必要者には公文書を発行する。配布方法は委員会に委ねる。

2. 訪問理学療法委員会 地域リーダー会議報告

(小林司委員長)

第 5 回訪問リハビリ・地域リーダー会議に参加した。1 日目は活動報告、地域組織編制について、2 日目は実務者研修会の内容について説明があった。第 5 回山梨県訪問リハビリテーション実務者研修会を開催予定。今年度は ST 士会が事務局を担当。今年度のカリキュラムは 10 時間以上、地域包括ケアシステム、フィジカルアセスメントが必修事項として挙げられている。振興財団研修班より配られたシラバスを活用し研修会を開催していく。日程については 10 月 25・26 日を予定していたが関ブロと重なるため再度検討していく。委員増員の審議については委員長の選出により山梨福祉総研の小沢 PT となる。

3. 学術研修部：事業報告と進捗状況報告

(北山学術局長)

第 4 回学術研修会は無事終了。参加者は 69 名。第 5 回学術研修会は 7 月 6 日(日)に開催予定。3 士会合同学術大会について、現在 PT の演題申込者は 0 名。PT は 20 演題を予定しており、予定している施設は早急に促しをしていただきたい。抄録の締め切りは来週の月曜日となっている。予定演題数に対して半分になる可能もあり、場合によっては延期も考えられるため危機感を持っている。各理事の施設で 2 件程エントリーしていただけるとありがたい。HP でも演題募集を掲載していく。学術局では研修会の回数表記は来年度から年度括りにする。学術大会については例年どおり通して表記し、他の研修会については各局に委ねることとする。

4. 会報部：サポーターズ記事について

(青柳広報局長)

谷村先生の協会賞と村松先生の学会賞の受賞関連記事を掲載するため、発行が 8 月になる予定。

5. 広報部：理学療法川柳と介護予防推進キャンペーンについて

(青柳広報局長)

理学療法川柳のポスター、募集要項は 6 月 27 日に発送予定。HP の掲載を依頼する。また山日新聞社、毎日新聞社に掲載を依頼する。介護予防推進キャンペーンについては甲府駅で活動予定していたが JR に断られたため、イトーヨーカドーの入口前で広報活動を行う予定。厚労省から協会に地域包括ケアに関する国民意識調査のアンケートの依頼があり、広報活動と合わせてアンケート調査を行う。

6. 社会局：地域リハビリテーション従事者研修会実行委員推薦について

(古屋社会局長)

県福祉保健部長寿社会課より依頼を受け、巨摩共立病院の河西利昌先生を推薦した。

7. 事務管理局：賛助会員について

(藤田事務管理局長)

賛助会員の募集はHPに掲載し、HPから申し込みできるようリンクする。アビリティーズから賛助会員について連絡があった。賛助会員入会申込書(団体)の住所・TEL欄は団体名の下に設けるよう変更する。

8. 事業管理部：交流会事業報告

(菅谷事業管理部長)

参加者数は221名(一般会員174名、転入会員3名、新入会員44名)であった。収支合計は14,250円(収入1,282,500円、支出1,268,250円)。問題点として個人での支払いが時間がかかり徴収ミスに繋がるリスクがある。対策案として申し込み終了後に各施設へ料金の明細書(請求書)を発送し、当日代表者が一括受付する案の報告があった。会長より理事席は末席にとの指示があった。

III. その他

1. 会長挨拶

先日、協会代議員総会に出席した。HPに掲載しているので確認を。組織率について毎年1万人を超える卒業生がいるが、その内2割程度が会員になっていない現状がある。今後、魅力ある協会活動をして差別化していかないと会員を確保できない。全体的に給料が下がっている。会員確保のためにシニア世代の退職、夫婦ともにPTの場合等どのようにしていくか課題がある。県士会では年齢・男女構成、夫婦PT等、調査を行い検討が必要。地域包括ケアシステムについては7月8日に第1回協議会出席予定。県内を4ブロックに分け、代表を決め窓口として活動していく。インターハイが近くなっており、士会でも協力し成功させたい。

2. 地域支援事業等推進委員会について

(磯野副会長)

昨日、地域支援事業等推進委員会を開催した。4ブロックの代表と各ブロックから2名ずつ参加した。地域ケア会議推進リーダーと介護予防支援推進リーダーをどう育成していくかについて話し合いをした。委員長、副委員長を合わせた11名がまず推進リーダーとなり、それから士会員に対して研修会を実施する。11名の導入研修についての日程調整等を含めて検討を行い、次回の理事会で詳細報告をする。

3. 9月及び12月の理事会開催日について

(藤田事務管理局長)

9月、12月は祝日と重なるため、開催日を9月30日(第5火曜日)、12月16日(第3火曜日)に変更する。

4. 次回の理事会日程について

日時 平成26年7月22日(火) 19:00～

場所 県士会事務所

連絡 7月18日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(藤田)へ提出する。
議題がない場合でも、事務管理局へ連絡する。